

令和8年度 第1回釜石市立栗橋公民館運営審議会 開催結果

- 1 開催日時 令和 8年 6月 3日(水) 13:25～14:30
- 2 開催場所 橋野ふれあいセンター 会議室  
(橋野地区多目的集会施設)
- 3 出席委員 7名 (川崎 悦三郎 委員長、八幡 和郎 副委員長、遠藤 朱実 委員、  
八幡 裕子 委員、川崎 通 委員、小笠原 春美 委員、高橋 昭英 委員)
- 4 事務局等 5名 市民生活部：部長  
まちづくり課：課長、主幹兼生涯学習係長  
栗橋公民館：館長、館長補佐
- 5 傍聴者 なし
- 6 結 果
  - (1) 開 会
    - ・ 事務局から、審議会の開会を宣言し、本日の審議会について、委員7名中全員が出席しており、釜石市立公民館規則第10条第3項の規定により、会議が成立したことを報告した。
  - (2) 挨拶
    - ・ 市民生活部長より挨拶
  - (3) 出席者紹介
    - ・ 事務局から、市の出席者及び出席委員を紹介
  - (4) 協 議
    - ・ 本会議の議長は、釜石市立公民館規則第9条第1項の規定により、委員長において議事の進行を行った。
    - ・ 協議事項である、① 令和8年度栗橋公民館運営方針及び重点事項について、② 令和8年度栗橋公民館事業計画についての2項目を一括して審議することとし、事務局において配布資料に基づき説明し、いずれも承認された。

[委員からの意見や質疑等の主な発言内容]

**【委 員】**

栗林小学校ですが、いつも栗橋地区の方からいろいろ支援をいただきながら、ここにある5つの活動をしているということを改めて確認できた。

この5つの活動の多くは、栗橋公民館や森林組合などが関わっているものの、PTAの方々の力なしでは出来ない事業である。また、どんぐり苗の植樹は、橋野小学校で平成19年

から開始した活動を引継いでいるもので、今年で約 20 年継続している活動ではある。

ご存じのとおり、来年、栗林小学校は閉校し、鶴住居小学校と統合することになっているが、5つの活動も、抜本的な見直しを図っていくものと思う。

鶴住居小学校とは統合に向け、様々な活動を予定しており、統合に向け、子ども達の交流準備を進めている。

栗っ子カフェについても、参加した子ども達は大変喜んでいて、感謝している。

子ども達もすごく充実した顔をしていたので、これからも色々な形での支援をお願いしたい。

**【委員】**

チームオレンジくりはしについて、色々と今の時代を反映していると思うが、オレンジカフェについては、毎月第2木曜日に、さんあいセンターで開催しているようであるが、何人くらいの方が参加しているのか？

**【事務局】**

10～20名程度と、それなりの人数が集まっているようであり、カラオケや手芸なども行っている。特徴的なところとしては、他の地区と比べると、男性の参加者が多いと伺っている。

**【委員】**

昨年3月にチームオレンジくりはしが結成されて1年経過しているが、栗林や橋野においても、地区でカラオケを通じてオレンジカフェ的な目的を抱き合わせて活動しているところもあると思うが、85歳や90歳を超えても元気に生活している高齢者がいる。

全国的にも高齢化となっているため継続して欲しいし、自分も顔を出してみたいと思う。

**【まちづくり課長】**

市内でのチームオレンジは、鶴住居地区が最初に立ち上げ、「チームオレンジはまぼうふう」の名称でスタート。公民館毎に立ち上がってきている。カラオケを行ったり、地元開業医の医師から協力をいただきながら、認知症テストやカフェも開いている。

小佐野地区においては、「チームオレンジこさのジュニア」を立ち上げ、小学3年～4年生は養成講座、5年生はステップアップ講座を受講しており、このような形は全国で初めてのようである。

平田地区では、「つながるカフェ」を行っているが、最終的には、この集まりの場を活動の場としてどう生かすかであり、設立したから終わりではなく、成果がどのようになったかが重要である。

平田地区では、認知症の方がうろうろしていたところを、地元の大平中学校の生徒が発見して警察へ連絡し、無事保護に繋がったケースがある。

様々な活動により、地域で認知症の方を見守ったり、助けたりすることが、認知症にならない人を増やすことに繋がると捉えている。

**【委員】**

おとなの社会科見学の名称に好感が持てる。内容については決まっているのか？

**【事務局】**

11月の実施を予定しており、内容もこれから詰めて行く。

**【委員】**

漢字なりたち講座も気になっている。こちらは新規事業だと思うが、どのような内容の講

座なのか？

【事務局】

漢字のなりたちを、クイズやゲームで勉強していただくものである。

【委員】

9月9日開催の文化財めぐりは、甲子方面となっているが、詳細は決まっているのか？

【事務局】

小川の山神寺、甲子の宿場駅跡などを予定している。また、ちょっとしたお楽しみもコースに入れたいと考えている。

【委員】

そば打ち体験教室について、2回目が翌年1月5日となっているが、開催は隣接する直売所の休みに当たらない日にして欲しいと伝えていた。施設管理者（直売所）からは許可を得ているのか？

【事務局】

講師の日程などを含め、総合的に判断した上で依頼し、了解を得ている。

【委員】

栗橋地区のウォーキングが入っていないが、見直しされたのか？

【事務局】

昨年度は計画に盛り込んでいたが、実施されなかった。今年度は、実施するもの、実施できるものを計画に掲載したことから、今回は削除した。ただし、この計画に掲載していないものであっても、要望等により実施する可能性はある。

【委員】

既に終了している和山高原わらび狩りの参加状況は？

【事務局】

全体で16名。鶴住居地区から14名、栗橋地区からは2名が参加した。

【委員】

図書コーナーの充実が計画に入っているが、この「かまいし本のまちプロジェクト」は、まちづくり課長が進めていると捉えているが、現状はどうか？

【まちづくり課長】

栗橋公民館には、先日、カウンター下に本棚を設置した。窓口で待っている方が、待っている間に見ることができるよう、直ぐに手に取ってくれるような本棚を設置した。背表紙だけでは、中々手に取ってくれないのが現実である。

今後の取り組みとして、例えば三陸鉄道では絵本列車を運行させたり、JR釜石線では、釜石・花巻区間が長時間乗車しているため、小さな単行本などを読むのに十分な時間があるため、列車内に本コーナーを設置したり、商店街でも喫茶店などの店舗に本コーナーを設置したりと、色々と検討している状況である。

(5) 閉 会

事務局から、次回の審議会は来年2月頃に、令和8年度の事業運営報告を説明し、審議いただく予定であることを伝え、審議会の閉会を宣言し終了した。